

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】（6～13ページ）に基づいて作成した「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」を示して、申告書の記載手順を説明します。
 - 記載手順は、矢印と番号（①～⑦）で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、6ページ以降の【事例1】及び【事例2】をご覧ください。
- なお、「確定申告書」の作成に先立って、「譲渡所得の内訳書（確定申告書付表兼計算明細書）」などの各種明細書（国税庁ホームページからダウンロードできます。）を作成します。

（手書きした部分は、便宜上、青色で表示しています。）

記載手順

- ① 「譲渡所得の内訳書（確定申告書付表兼計算明細書）」などを作成します。（6～7、14～15 ページ参照）
- ② 第一表の **収入金額等** と **所得金額等** の箇所を書きます。（8、16 ページ参照）
- ③ 第二表を作成します。
第二表は、② 及び ④ の記載と併せて作成します。
（第二表の記載例は、9、17 ページを参照してください。）
- ④ 第一表の **所得 から差し引かれる金額** の箇所を書きます。（10 ページ参照）
- ⑤ 第三表の分離課税の **収入金額** や **所得金額** などの箇所を書きます。（11、18 ページ参照）
- ⑥ 第三表の **税金の計算** の箇所を書きます。（12、19 ページ参照）
- ⑦ 第一表の **税金の計算**、**その他** などの箇所を書きます。（13、19 ページ参照）

申告書記載に当たって

記載に当たっては、次の点にご留意ください。

- 1 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください（消せるボールペンは使用しないでください）。
なお、複写式となっている申告書は、2 枚目（控用）を取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「・」半濁点「゜」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
【記載例】 縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる
【記載例】 （金額が1,234,500,000円の場合）
1 2 3 4 5 0 0 0 0 0 0
【記載例】 配 当 ④ 1 2 3 0 0 0 0
給 与 ④ + 2 3 0 0 0 0 0
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

申告書第一表

令和 07 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書

納税地 T市〇〇町8-5

氏名 東京 太郎

職業 会社員

収入金額等

給与	6700000
公的年金等	
雑業	
その他	
合計	4930000

所得金額等

給与	4930000
公的年金等	
雑業	
その他	
合計	4930000

税金の計算

所得から差し引かれる金額	580000
社会保険料控除	50000
生命保険料控除	50000
地震保険料控除	0000
基礎控除	0000
合計	680000

復興特別所得税額④5欄の記入をお忘れなく!!

復興特別所得税額 (44×2.1%)

譲渡所得の内訳書

（確定申告書付表兼計算明細書）【土地・建物用】

【令和 07 年分】

申告書第三表（分離課税用）

令和 07 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書（分離課税用）

住所 T市〇〇町8-5

氏名 東京 太郎

収入金額

短期譲渡	50124000
長期譲渡	
合計	50124000

所得金額

短期譲渡	45815300
長期譲渡	
合計	45815300

税金の計算

所得から差し引かれる金額	4930000
社会保険料控除	680000
基礎控除	4250000
合計	45815000

特別控除額がある場合は、特別控除額の合計額⑩欄の記入をお忘れなく!!

特別控除額の合計額 ⑩